

学校と地域でつくる学びの未来

みしまの“教育”

子どもたちのために、そして未来の三島のために、
地域、学校、保護者など、みんなで学校を支え、
子どもを育てましょう

豊かな感性と
確かな学力

三島だからこそ
得られる「学び」

問合せ 学校教育課 (☎983-2671)、生涯学習課 (☎983-0881)

イザ！カエルキャラバン！ 防災教育体験事業



市では「心の教育」を柱に、自ら判断して命を守る教育として防災教育を推進しています。「イザ！カエルキャラバン！」とは、平成17年に阪神・淡路大震災10周年事業として、被災者の声をもとに開発されたプログラムです。市内小学校でもPTAのみなさんが実施しました。ゲーム感覚で楽しみながら、震災時に必要な「技」や「知恵」を学ぶことができました。

これまでの取り組み

- 平成25年8月25日 西小 PTA 育成部おやじの会
 - 平成25年9月21日 東小 PTA
 - 平成26年9月21日 西小 PTA 育成部おやじの会
 - 平成26年10月26日 北上小 PTA (協力：北上中生徒)
- ※市内小学校児童や幼児、その保護者、地域住民が各回100人以上参加しました。



▲救出：ジャッキを使って救出作業



▲消火：バケツや鍋、おけを使って水を搬送



▲楽しいおもちゃの交換会 (かえっこバンク)



▲知恵：新聞紙で食器作り



見本



見本



見本



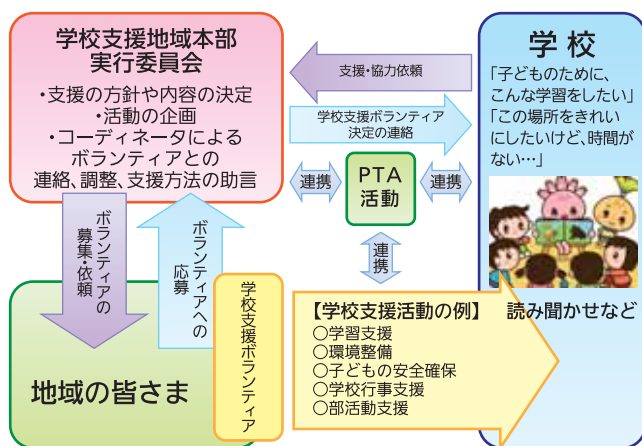
見本

▲楽寿園の市民招待券です。詳細は、25ページをご覧ください。

地域で学校を支援する取り組み 学校支援地域本部事業

「学校支援地域本部事業」とは

学校を支援するため、地域の皆さんとの橋渡しをする学校支援地域本部実行委員会を中心に、地域の皆さんが学校支援ボランティアとして活動に取り組む体制を「学校支援地域本部事業」と呼んでいます。これまでの地域やPTAの皆さんによる学校支援活動を生かしつつ、新たな取り組みを進める事業です。



では、学校の支援協力依頼に応じて、花壇や校庭の環境整備活動、授業でのゲストティーチャーや学習作業の補助、放課後の学習支援、本の読み聞かせ、生徒・保護者の教育相談、地域での職場体験学習実施の依頼などの活動に実行委員会や地域の学校支援ボランティアの皆さんが取り組んでいます。



学校支援ボランティアの参加について

子どもたちのために役立ちたいと考えていただける人であれば、どなたでも参加可能です。「できるときに、できるだけ」がモットーです。今後、こんな学校支援活動を依頼したいという場合、実行委員会からの依頼やチラシ、学校だよりなどで募集をします。

事業実施の効果

地域や三島の将来を担う子どもたちを育むためには、学校・家庭・地域の三者が連携して子どもを育てる社会総がかりの教育が必要です。子どもたちにとって、成長する過程で自分にかかわってくれた地域の人がたくさんいたなと思えることが、将来的に自分が地域にかかわろうとする意欲につながります。また、地域の皆さんが学校を支援し、子どもたちとかわるることにより、地域の教育力の活性化にもつながります。

- 効果① 子どもたちが地域の皆さんとふれ合う機会が増え、子どもたちの教育をよりよいものにできます。
- 効果② 地域の皆さんが経験や学習の成果を活用する場になり、生きがいづくりにもつながります。
- 効果③ 地域の皆さんと学校が、子どもたちへの教育の目標や課題を共有し、課題解決に向けて地域ぐるみで取り組む契機となります。

三島市の取り組み

平成21年度から錦田中学校でモデル的に「学校支援地域本部事業」を開始しました。平成26年度からは、新たに西小学校、坂小学校、沢地小学校、北中学校、北上中学校でもこの取り組みを開始しました。各本部



今後の事業推進に向けて

教育委員会では、市内各小中学校に学校支援地域本部実行委員会を立ち上げ、「学校支援地域本部事業」を開始することを計画しています。平成27年度は市内の2/3以上の小中学校で事業を実施する予定です。

